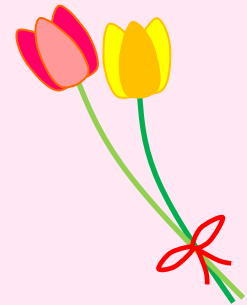


「町田市生涯学習センターに求められる役割について（答申）」（概要）

▶ 諮問内容

「町田市生涯学習センターに求められる役割について」



▶ 答申の構成及び概要

1 町田市の生涯学習を取り巻く環境（本文2～4ページ）

「人生100年時代」の到来やICTの普及、国際化などの社会環境の変化や、市民の学習を取り巻く環境について整理しています。

2 生涯学習センターの概要（本文5～7ページ）

生涯学習の意義や役割に加え、生涯学習センターの設立経過、機能別に見た現状及び課題についてまとめています。

3 これからの生涯学習センターについて（本文8～10ページ）

町田市生涯学習センターで今後担うべき役割について、以下の4点に整理しています。

（1）誰もが学べる環境をつくる

市民一人ひとりが自分に合った学習活動を行える環境を整備することが、生涯学習行政が果たすべき最も重要な役割である。

- ◆ 様々な事情により学ぶことに支援が必要な人や施設に足を運べない人など、学習機会を十分に得ることが出来ない人たちへの支援を充実する
- ◆ 学習資源のデジタル配信など、場所や時間の制約なく、多様な学習に触れることができる環境を整備する。

（2）課題解決を支援する

時代とともに複雑化・多様化する地域課題を解決するためには、市民一人ひとりの学びや地域住民同士の学び合いが不可欠である。そのため、地域課題を教育や学習の視点で捉え直し、解決に向けた学習を支援していく必要がある。

- ◆ 生涯学習センターで行う横断的な課題をテーマとした講座に加え、地域固有の課題についての講座を地域で展開する。
- ◆ 課題解決の推進役となるリーダーやコーディネーターを育成するため、地域の担い手を対象とした学習機会を充実させる。
- ◆ 生涯学習センターで行う講座と地域での学びが循環していく仕組みを構築する。

(3) 学びの裾野を広げる

生涯学習は、日常生活の充実や心の豊かさにつながることを期待できるほか、生活上の課題解決や地域づくりなどの場面でも必要不可欠である。そのため、より多くの人々の生涯学習への関心を高め、学ぶ楽しさを伝えていくことで、一人ひとりの継続的な学習につなげていくことが重要である。

- ◆ 地域の公共施設や集会施設を活用し、より身近な場所で学習のきっかけを提供していく。
- ◆ 学校や各校のボランティアコーディネーターと連携しながら、子どもの学びの場や機会を充実する。

(4) 学びのネットワークづくりを促進する

市民の学習に関するニーズは多様化しており、それらのすべてに生涯学習センターで答えることは出来ない。したがって、市民への学習支援をより効果的に展開するためには、生涯学習センターが様々な主体や取組をつなぐ役割を担う必要がある。

- ◆ 学習支援の取組に関する情報を集めた「学習全体の見取り図」を作成・活用し、関係機関とのネットワークを広げる。市民にも提供することで、一人ひとりのニーズに合った学習環境につないでいく。
- ◆ 関係機関と連携・協働し、市民が学んだ知識や経験を活かすことができる機会を作ることで、学びが地域社会へ還元していくような仕組みを構築する。

